

平成22年4月9日

各 位

会 社 名 昭和ホールディングス株式会社
代表者名 代表執行役社長 重田 衛
(コード番号 5103 東証第二部)
問合せ先 執行役財務総務担当 庄司 友彦
(TEL. 04-7131-0181)

当社保有の売買目的有価証券の取扱いについて

本日現在当社の保有している売買目的有価証券の取扱いにつきまして、憶測により該当する会社の株価に影響を与えている可能性がございますので、当社の見解を下記の通りお知らせいたします。

記

1. 株式取得の経緯

平成21年12月25日付「売買目的株式の取得に関するお知らせ」にてご報告させていただきました通り、当社は日本製図器工業株式会社（代表取締役 福田穂浪）に対し融資を実行しておりました。当社は、被担保債権の弁済に充当するという形で同社から大阪証券取引所ヘラクレス市場に上場している株式会社ウェッジホールディングス（以下「ウェッジHD」という。）の株式2万5000株（取得単価11,200円）を取得し、売買目的有価証券として保有しておりました。

その後、ウェッジHD社の好調な業績や平成22年3月に開示された資本・業務提携の内容によるものか同社株式は上昇し、平成22年3月31日には時価28,490円をつけ、現在の株価も取得価格を倍以上の水準で推移しております。

当社の保有しているウェッジHDの株式につきましては、一部を市場で売却をしましたが、本日現在でも22,884株保有しております。

2. 本件株式の今後の取扱いについて

当社は株式取得から現在に至るまで保有しているウェッジHDの株式のごく一部の売却しか行っておらず、その結果平成22年3月31日現在では評価益・売却益合計で422百万円の利益を計上する予定です。（平成22年4月5日付当社「売買目的有価証券の評価益・売却益に関するお知らせ」にてご報告済み。）

ウェッジHDは、昨年来「タイ王国大手リース会社の買収」や、「高級リゾートへの投資」、「デット・エクイティ・スワップによる資本増強」、「異業種との業務・資本提携」等の施策により今後経済成長の著しいアジアへの展開を進めております。これらにより事実同社は「大幅な増益」と「復配」を果たしており、当社も高く評価しております。

一部web上には、当社がウェッジHDの株式の売り抜けを行う等の記載がありますが、当社は上記に記載しております通り、ウェッジHDの本来の企業価値を高く評価しておりますので、現時点で「売り抜け」、「売り急ぎ」といわれるようなことをする考えは毛頭はなく、当社は十分な資金を有しておりますので、資金確保の為に「売り急ぎ」を行う必要性にまで駆られておりません。

当社といたしましては、当初からの方針に則り本件株式を売買目的で保有しておりますが、ウェッジHDの株式の大きなシェアを保有しているということを十分認識し、今後ともマーケットに無用な混乱を起さぬよう最善の行動をして参ります。

以上